

可決した意見書

（内閣総理大臣などに送付しました）

- ◎経営所得安定対策の堅持と更なる充実した政策を求める意見書
- ◎JR北海道の鉄道事業の維持存続に向けた意見書（国）
- ◎JR北海道の鉄道事業の維持存続に向けた意見書（北海道）
- ◎義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、子どもの貧困解消など教育予算確保・拡充と就学保障の充実、「30人以下学級」の実現を目指す教職員定数改善に向けた意見書

（以上4件、議員提案）

人権擁護委員候補者に

中本 照子 さん
古屋 博行 さん
石川 幸雄 さん

—適任と答申—

人権擁護委員 中本照子さん、古屋博行さんは、平成29年3月31日をもって任期が満了するため、引き続き両氏を推薦したいとの提案、また、佐藤克之さんが同じく29年3月31日をもって任期が満了するため、後任として石川幸雄さんを推薦したいとの提案があり、28年12月7日の本会議において全会一致で適任と答申しました。

議会改革特別委員会 行政視察報告

深川市議会では、平成28年3月に議会改革特別委員会を設置し、議会改革に取り組んでいます。現在は、定例会の内容などを市民に伝える議会報告会の開催やインターネットを利用した議会中継、議会だよりのあり方など、議会情報の発信について協議しているところです。

先進都市の取り組みを参考にするため、平成28年11月16日～18日に行政視察を行いました。

鶴岡恵司委員長、太田幸一副委員長、
辻本 智委員、宮澤孝司委員、田中昌幸委員、松本雅祐委員、長野 勉議長

◆愛知県岩倉市（議会基本条例を礎にした議会改革について）

- ・議会報告会及び意見交換会では、議会として決定したことを述べる場であって、決して議員個人の意見を述べる場ではないことを議会全体として徹底している。



▲岩倉市での視察調査

- ・政策提言機能の充実など議会の活性化にゴールはない。今後も検証や見直しを続けていく。
- ・市民にわかりやすいように議員間討議を進めることを重んじているも、委員会の休憩中に意見を交換していることもあり、まだ熟成されていない。議員間討議は、議会が少数意見も反映し、合議により結論を導き出すための重要な手法と考えている。

◆愛知県知多市（議会報告会及び議会基本条例について）

- ・議会報告会で市民からいろいろな意見が出されても、事業を実施するための権利を持っていない議会としては、その場で解決策などを答えることができず、後日、執行部側に伝えるとか、個人の議員活動の参考にするということにとどまっている。
- ・議会報告会の運営は、実行委員会方式で、各委員会の正副委員長、会派に属さない議員などで構成されており、議会情報の発信機能を、議会全体として意識できるようにしている。
- ・議会基本条例の制定は、目的ではなく、あくまでも議会活性化への手段であり、制定後の議会、議員活動が市民に評価されるものと肝に銘じている。



▲知多市での視察調査